



2005年11月29日

各 位

会 社 名 アステラス製薬株式会社
代 表 者 代表取締役社長 竹中 登一
コード番号 4503
(URL <http://www.astellas.com/jp>)
東証・大証・名証(各第一部)、札幌
決 算 期 3月
問合わせ先 広報部長 田中 昭弘
Tel:(03)3244-3201

排尿障害改善剤「ハルナール®カプセル」の特許侵害で 東洋ファルマー並びにあすか製薬を提訴

アステラス製薬株式会社(本社:東京、社長:竹中 登一、以下「アステラス製薬」)は、当社が保有する塩酸タムスロシン徐放性製剤(製品名:ハルナール®0.1mg/0.2mg カプセル)の特許権に基づき、東洋ファルマー株式会社(本社:金沢市、以下「東洋ファルマー」)並びにあすか製薬株式会社(本社:東京、以下「あすか製薬」)に対し特許侵害の排除を求める訴訟を、11月29日付で東京地裁に提起いたしましたのでお知らせします。

塩酸タムスロシンは、アステラス製薬(旧山之内製薬)が創製した、前立腺・尿道平滑筋に選択性の高い1ブロッカーであり、血圧に影響を与える血管平滑筋にほとんど作用することなく、尿道の緊張状態をやわらげ排尿障害を改善します。日本では、1993年に「ハルナール®カプセル」の製品名で発売し、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善剤の第一選択薬として使用されています。

アステラス製薬は、2006年3月まで存続する塩酸タムスロシンの製剤特許を保有しています。このたび、東洋ファルマーが2005年7月に薬価を取得し、あすか製薬が販売している塩酸タムスロシンのカプセル製剤「リストリーム®カプセル0.1mg/0.2mg」が、当該特許を侵害していると判断し、東京地裁に同製品の製造販売の差止並びに損害賠償を求めて訴訟を提起しました。

アステラス製薬では、自社製品に対する特許侵害の有無について当社研究所において独自に分析し、検討しております。今後も、当社の保有する特許に対して侵害またはその恐れが生じた場合には、訴訟提起を含め適切な手段を講じて排除していきます。

以上